

JAM 25th
女子美アートミュージアム開館25周年記念

柿内青葉〈十六の巻〉1925年、絹本着色

女子美の先達たちと
女子美染織コレクション展

植物 図鑑

春 ハ ル



相模原麻溝公園
SAGAMIHARA ASAMIZO PARK
JAM

女子美アートミュージアム
JOSHIBI UNIVERSITY OF
ART AND DESIGN ART MUSEUM



Plant Encyclopedia: Spring

2026 3.25 Wed. ~ 4.28 Tue. 10:00 ~ 17:00 (入館は16:30まで) 日曜・祝日休館 入館無料
4月5日(日)、12日(日) 特別開館

主催：女子美術大学、女子美術大学美術館 協力：相模原麻溝公園 後援：相模原市、相模原市教育委員会

Plant Encyclopedia: Spring スプリング

女子美アートミュージアムは、相模原麻溝公園に隣接し、豊かな自然に囲まれた静かな環境にあります。春になると木々が芽吹き、花々が咲き誇り、桜が美しく咲き揃います。季節の訪れを、からだ全体で感じられる場所です。古くから、春の息吹を伝える植物は、多くの芸術家たちによって繰り返し表現されてきました。今回の「女子美の先達たちと女子美染織コレクション展」では、「植物図鑑 春」と題し、作品に描かれた植物に注目します。

展示作品は、女子美術大学美術館が所蔵する、卒業生やゆかりのある作家による約4,000点の絵画・彫刻などのコレクションから厳選された、春頃の植物をモチーフとした絵画作品。そして、世界各国の染織品約12,000点を収蔵する「女子美染織コレクション」から、春の文様や色彩を映す資料をご紹介します。また、昨年のお造形「さがみ風っ子展」をきっかけに、相模原麻溝公園と美術館は連携展示をスタートしました。本展では、公園で植物を扱う専門職員のみならず、作品に描かれた植物についての豆知識コメントを寄せていただきました。ぜひ、館内で作品に描かれた植物たちの姿を味わったあと、美術館前の相模原麻溝公園に足を伸ばしてみてください。作家が見つめた草花の美しさと、いま目の前で息づく植物の姿が、きっと静かに響き合うことでしょう。

〔関連イベント〕

ギャラリートークツアー

日時：3月27日(金) 14:00～公園・美術館各20分程度

申込不要・雨天決行・JAMロビーにお集まりください

内容：植物の専門家(相模原麻溝公園職員)と美術館学芸員で植物を語ります。

絵画作品、染織品、公園の植物の3つのツアー

・美術館と麻溝公園をめぐる「植物図鑑」シート配布(なくなり次第配布終了)



《花の散らし模様織物製》18世紀 フランス 絹、絨織



擬倉和子〈不詳(鳥と草花)〉制作年不詳 紙本着色



《蒲公英模様の小袖》江戸時代(19世紀) 絹、黄縷子地・型染

〔次回展のご案内〕

「女子美アートミュージアム開館25周年記念特別展 堀文子の出発点」

(前期) 2026年5月22日(金)～6月27日(土)

(後期) 7月2日(木)～8月4日(火)



交通案内

①小田急線相模大野駅北口3番バス乗場「女子美術大学」行き 終点下車(約20分)

※平日・土曜日の午前10時前は「グリーンホール前」4番バス乗場より乗車

②JR 横浜線古淵駅2番バス乗場「女子美術大学」行き 終点下車(約15分)

◎車でご来場の方は隣接する市立相模原麻溝公園内の各駐車場をご利用ください



林唯一〈クレマチス(テッセン)〉制作年不詳 水彩、紙



林唯一〈桜〉制作年不詳 水彩、紙

女子美アートミュージアム

〒252-8538 神奈川県相模原市南区麻溝台1900

女子美術大学 相模原キャンパス10号館1階

Tel: 042-778-6801 Fax: 042-778-6815

E-mail: bsk@venus.joshibi.jp

URL: <https://www.joshibi.net/museum/>



公園 QR



美術館 QR